

各 位



2017年12月19日

会社名 J C R ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(東証1部 コード番号4552)
問合せ先 執行役員経営企画本部長 本多 裕
(TEL 0797-32-8591)

ルクセンブルク大公国における工場用地賃借に関する覚書締結のお知らせ

当社は、ルクセンブルク大公国（以下、「ルクセンブルク」）での新工場建設に向けて、本日、同国経済省と工場用地賃借に関する覚書（Memorandum of Understanding）を締結したことをお知らせいたします。

当社は、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した酵素治療製剤の海外展開や、JR-051（ファブリー病治療酵素製剤）を始めとする他の開発品目の販売後供給に向け生産拠点の増強、および日本国内における広域災害時等に起こり得る生産停止リスクの分散・軽減を図ることも含め、中長期的な戦略的投資として、ルクセンブルクでの新工場建設のため、工場用地を賃借いたします。

本件につきましては、既に同国経済省との協議を重ねており、当社の計画および投資プロジェクトの実現に向けて連携を行ってまいります。ルクセンブルクでの新工場建設は、当社にとってグローバルな生産体制整備の第一歩となります。本工場用地は、Käerjeng市に位置する「Bommelscheuer」工業団地内となります。

【JCRファーマ株式会社 代表取締役会長兼社長 芦田 信のコメント】

「この度、ルクセンブルグ大公国と本覚書が締結できたことを大変光栄に思います。バイオ医薬品の原薬工場をルクセンブルクに建設することは、当社のグローバル展開にとって欠かせないものとなることと信じています。将来、この工場からJCRファーマの名を冠した医薬品が、一日でも早く、世界中の患者様に届けられることを期待しています。」

今後、さらなる事業活動の強化を図るとともに、希少疾病治療薬のスペシャリティファーマとして、より多くの患者様の治療に貢献できるように取り組んでまいります。

本件に関しまして、現時点では工場建設費用等が未定であるため、今期当社連結業績への影響は未定です。今後、工場建設の契約を締結した際には、経過開示を行います。

なお、ルクセンブルク大公国については、下記ホームページをご参照ください。

・ルクセンブルク経済省 東京貿易投資事務所

<https://www.investinluxembourg.jp/ja/欧州ビジネスの要所「ルクセンブルク」/>

以 上